

宗谷の近況～猿払村管内の海岸前浜清掃にボランティア参加しました！

6月29日(日)、猿払村が主催する前浜清掃に、農村振興課から6名がボランティア参加しました。場所は、当課管理の「海岸保全区域」に隣接する猿払川河口付近です。今回は、この清掃活動の様子をお伝えするとともに、当地に係る歴史の1ページも併せてご紹介します。



①猿払川河口付近から、一斉に南下して行きました。キャタピラー付きトラック(右側)が併走しており、大きな家電や金属部品などのごみはこれに載せました。



②コンクリート構造物の下も、念入りに見て行きました。ペットボトルや空き缶などが見つかりました。



③巨大な流木も漂着していました。左奥の木の太さを見てください。どこの国からたどり着いたものなのでしょう？



④約1時間歩き廻り、ごみの詰まった袋をトラックに積んで作業終了。昨年よりもごみの量が少なく、作業時間も短かったです。快晴にも恵まれ、気持ちのよい時間を過ごすことができました。



⑤今回の清掃区域近くには、『猿払電話中継所跡』の石碑がありました。1934年に北海道と樺太を海底ケーブルで結ぶ長距離電話回線が完成し、1964年まで当地が揚陸地の重要中継所の役割を果たしたとのこと。



⑥石碑の近くには海底ケーブルの標本も陳列されていました。古めかしい感じはあるものの、とても頑丈・精巧な作りになっており、これが戦前～戦中に製作・敷設されていたことに驚きました。